

情報基盤の活用による 学生サービスの向上

A班 第1グループ

もくじ

- 現状
- 各大学の実践
- 課題
- 提案
- まとめ

現状

- ・離籍者の増加
- ・学力の低下
- ・入学時点での目的意識の希薄
- ・部署間での情報共有ができていない
- ・学生の最新情報(連絡先等)がうまく更新されない
- ・業務の効率が良くない

各大学の取組

ハード面

- ・皆で集まれる場所の提供
(図書館、食堂、テラス、ラウンジ)
- ・学習支援室(学生相談室)



各大学の取組

ソフト面

- イベント企画
- 面談(修学・就職指導)
- 学生同士の結びつき(先輩→後輩)
- ピアサポート
- TA(ティーチングアシスタント)



課題

- 学生対応の時間の確保
- 情報共有の必要性

提案①

●ポータルサイトの活用

キーワード検索機能

職員：マニュアルの共有化

学生：各種申請書のダウンロード



業務の効率化

提案②

●学生カルの導入

顔写真、氏名、住所、入学区分、保証人、海外活動、
担当教員、学費、連絡先、出身校、履修情
備考(将来履歴)

学生

職員

教員

教員

提案②

学生カルテの導入

顔写真、氏名、住所、入学区分、保証人、課外活動、
担当教員、学費、連絡先、出身校、履修情報、
備考(相談履歴)



情報の共有化

学生カルテの導入

[前提]

- ・各職員の個人情報取り扱いに対する意識レベルの統一
- ・各大学における個人情報取り扱い規定に則った運用

●懸念されること



個人情報の取り扱い

セキュリティ対策

- ・イントラネット上での運用
- ・ID/パスワードの発行
- ・ログイン制約

→部局長以上等のアクセス権限



- ・情報漏洩の防御
- ・ログの把握
- ・部局単位での責任

提案③

- SNSの活用
ピアサポートの公募
イベント企画



提案③

- SNSの活用
ピアサポートの公募
イベント企画



学生同士・学生と教職員の情報交換



まとめ

提案①、提案②、提案③を実践することによって、各大学の取り組みで不足していた物を補うことで、より一層の学生サービスの向上につながるのではないかと考えました。